Life's Good

インストールマニュアル

LG デジタル サイ ネージ

(サイネージモニター)

このたびは LG サイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

webOS 1.0

www.lg.com

目次

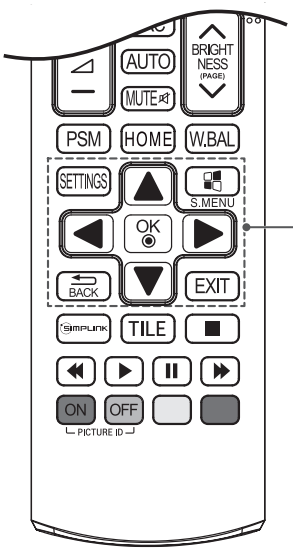
インストールメニュー を開く.....3

インストールメニュー 4

- Signage Setup（サイネージセットアップ）.....4
- USB Cloning（USBクローニング）.....8
- Password Change（パスワードの変更）.....8
- Tile Mode（タイルモード）.....9
- Fail Over（フェイルオーバー）.....11
- ISM Method（ISMモード）.....12
- Server（サーバー）.....14
- Lock Mode（ロック モード）.....14

インストールメニュー を開く

1 **SETTINGS（設定）**ボタンを 5 秒間押し続けます。



SETTINGS：メインメニューへのアクセス、入力の保存、メニューの終了に使用します。
S.MENU：SuperSignメニューキー（モデルによっては、この機能がサポートされていない場合があります。）
ナビゲーションボタン: メニューやオプションをスクロールします。
OK：メニューやオプションを選択し、入力を確定します。
BACK：ユーザーインタラクション機能で1つ前のステップに戻ります。
Exit：すべてのOSDタスクとアプリケーションを終了します。

2 トースト画面（選択されている入力信号名表示）が表示されたら、トースト画面が表示されている間に［0］［0］［0］［0］（0 を 4 回）押した後［OK］ボタンを押します。
- 入力が終わる前にトースト画面が消えてしまったら最初からやり直して下さい。
- 0000 はパスワードの初期値です。パスワードを変更した際には変更したパスワード（4 桁数字）に置き換えて入力して下さい。



3 **[Installation Menu（インストールメニュー）]** が表示されたら、目的のオプションを選択します。

- Signage Setup（サイネージセットアップ）
- USB Cloning（USB クローニング）
- Password Change（パスワード変更）
- Tile Mode（タイルモード）
- Fail Over（フェイルオーバー）
- ISM Method（ISM モード）
- Server（サーバー）
- Lock Mode（ロックモード）

メモ
- マニュアル内の図と実際の製品は異なることがあります。

インストールメニュー

メモ

- モデルによっては、設置マニュアルに記載されている機能をサポートしていない場合があります。

Signage Setup（サイネージセットアップ）

このメニューは、インストール後のデジタルサイネージの設定に使用します。

Power On Status（電源オンステータス）

- 主電源をオンにするときの、モニターの動作ステータスを選択できます。
- [PWR]、[STD]、[LST] の中から選択できます。
- [PWR] を選択すると、主電源をオンにするときのモニターのステータスは常にオンになります。
- [STD] を選択すると、主電源をオンにするときのモニターのステータスはスタンバイになります。
- [LST] を選択すると、モニターのステータスは前回と同じステータスになります。

IR Operation（IR の操作）

- [IR Operation（IR の操作）] を [Normal（標準）] に設定すると、リモコンを使用できます。
- [IR Operation（IR の操作）] を [Power Key Only（電源キーのみ）] に設定すると、電源キーのみ使用できます。
- [IR Operation（IR の操作）] を [Block All（すべてブロック）] に設定すると、リモコンが使用できなくなります。

Local Key Operation（ローカルキーの操作）

- [Local Key Operation（ローカルキーの操作）] を [Normal（標準）] に設定すると、ローカルキーを使用できます。
- [Local Key Operation（ローカルキーの操作）] を [Power Key Only（電源キーのみ）] に設定すると、電源キーのみ使用できます。
- [Local Key Operation（ローカルキーの操作）] を [Block All（すべてブロック）] に設定すると、ローカルキーが使用できなくなります。

Wake On LAN

- Wake On LAN 機能のオン／オフを設定できます。
- [On (オン)] または [Off(オフ)] に設定できます。
- 設定を [On (オン)] にすると Wake On LAN 機能が有効になり、LAN 経由でリモート操作できるようになります。
- 設定を [Off(オフ)] にすると Wake On LAN 機能は無効になります。

No Signal Power Off (15 Min)（信号がないと電源オフ（15 分後））

- [15 Min Force Off（15 分後強制オフ）] 機能のオン／オフを選択できます。
- [On (オン)] または [Off(オフ)] に設定できます。
- 設定を [On(オン)] にすると、接続機器からの信号がない状態が 15 分間続くと、電源がオフになります。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、[15 Min Force Off（15 分後強制オフ）] 機能は無効になります。
- 製品を長時間使用する場合は、このオプションを [Off（オフ）] に設定してください。

Auto Power Off（自動電源オフ）
- [4 Hours Off (4 時間後オフ)] 機能のオン／オフを選択できます。
- [4 Hours(4 時間)] または [Off(オフ)] に設定できます。
- 設定を [4 Hours(4 時間)] にすると、4 時間リモコンや、本体のボタンを操作しなかったときに、電源がオフになります。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、[4 Hours Off (4 時間後オフ)] 機能は無効になります。
- 長時間、映像を表示する場合は、設定を [Off(オフ)] にしてください。

DPM
- DPM（ディスプレイ電源管理）機能を設定できます。
- Off（オフ）：[Off（オフ）]、[5 sec.（5 秒後）]、[10 sec.（10 秒後）]、[15 sec.（15 秒後）]、[1 min.（1 分後）]、[3 min.（3 分後）]、[5 min.（5 分後）]、または [10 min.（10 分後）] に設定できます。
- [Off(オフ)] 以外が設定されている場合、入力信号がないとモニターセットは DPM モードに入ります。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、DPM 機能は無効になります。
- 次の場合には、DPM はオフまたは 10 分にのみ設定できます。 DPM が 5 秒、10 秒、15 秒、1 分または 5 分に設定されていた場合、10 分に変更されます。
  - [USB Auto Playback（USB 自動再生）] が [Photo（写真）] または [Movie（動画）] に設定されている場合
  - [Fail Over（フェイルオーバー）] が [Auto（自動）] または [Manual（手動）] に設定されている場合

Baud rate（ボー レート）（9600/115200）
- RS-232 の通信速度を変更して、モニターを制御できます。
- [9600] または [115200] を選択できます。
- 設定を [9600] にすると、RS-232 の通信速度は 9600 bps に設定されます。
- 設定を [115200] にすると、RS-232 の通信速度は 115200 bps に設定されます。

OSD Portrait Mode（OSD ポートレートモード）（On（オン）、Off（オフ））
- OSD を反時計回りに回転させます。
- [On（オン）] または [Off（オフ）] に設定できます。
- 設定を [On(オン)] にすると、この機能は無効になります。
- オンにした場合、OSD を反時計回りに 90 度回転できます。 このときマウスは使用できません。

Check Screen（画面の確認）
- [Check Screen（画面の確認）] 機能は、画面の端に異常がないかどうかを判断します。 1 秒間隔で画面に R、G、B OSD を表示し、RGB センサーがそのエリアをテストします。
- [On（オン）] に設定すると、[Check Screen（画面の確認）] 機能は有効になります。
- [Off（オフ）] に設定すると、[Check Screen（画面の確認）] 機能は無効になります。
- ポートレートモードが [On（オン）] になっていると、[Check Screen（画面の確認）] 機能はオフになり、無効になります。

Power On Delay（パワーオン遅延）（0 ～ 250）
- この機能は、複数のモニターセットの電源が同時にオンになるときの過負荷状態を防ぐために、電源をオンにするタイミングを遅らせます。
- 遅延の間隔を 0 秒～ 250 秒の範囲で設定できます。

Digital Audio Input (デジタルオーディオ入力)
- HDMI/DisplayPort：HDMI または DisplayPort によって伝送されるデジタル音声信号を、モニターのスピーカーから出力することができます。
- Audio In（オーディオ入力）：HDMI ポートまたは DisplayPort ポートをオーディオ入力ポートに接続して、モニタースピーカーから音声を出力することができます。

Speaker (スピーカー)
- 設定を [On(オン)] にすると、モニターのスピーカーがオンになり音声出力が可能になります。(* スピーカーは別売です。)
- 設定を [Off(オフ)] にすると、モニターのスピーカーがオフになります。

USB Auto Playback（USB 自動再生）
- USB デバイスが接続されると写真やビデオを自動再生する機能です。 [View Photos/Movies（写真 / ムービーの表示）] メニューを手動で選択しなくても、写真やビデオが自動的に再生されます。
- ムービーに [USB Auto Playback（USB 自動再生）] を選択すると、USB デバイスの最上位のフォルダにあるビデオファイルが自動的に順番に再生されます。 電源をオンにすると、USB のビデオファイルを自動的に検索して再生します。
- 写真に [USB Auto Playback（USB 自動再生）] を選択すると、USB デバイスの最上位フォルダにあるビデオファイルが自動的に順番に再生されます。 電源をオンにすると、USB の写真を自動的に検索して再生します。 ただし、この機能は SuperSign のコンテンツ再生中は使用できません。

Set ID (1 ~ 1000) (セット ID)
- 複数のモニターを接続する場合、モニターごとにセット ID 番号を割り当てることができます。 1 ～ 1000 の範囲の番号を割り当てて、メニューを終了します。製品ごとに割り当てたセット ID を使用して、各製品を個別に制御できます。

Reset Set ID（セット ID のリセット）
- セット ID をリセットします。リセットされた場合、セット ID は「1」に設定されます。

Standby PWR Control（スタンバイ PWR 制御）
- モニターをオフにしたときに EDID 値を保持するかどうかオプションを設定します。
- [On（オン）] または [Off（オフ）] に設定できます。
- [On（オン）] に設定すると、モニターの電源を切った後も EDID 値は保持されます。
- [Off（オフ）] に設定すると、モニターの電源を切ると EDID 値は失われます。
- [Off（オフ）] に設定した場合、入力とモデルに応じて EDID 値を保存できます。

BLU Maintenance Mode（BLU メンテナンスモード）

- 輝度のメンテナンス機能の有効 / 無効を切り替えます。
- On（オン）にした場合、輝度のメンテナンス機能が有効になります。（XF2B、XF3C：輝度 2500 nit）
- Off（オフ）にした場合、輝度のメンテナンス機能が無効になります。（XF2B：輝度 2500 nit、XF3C：輝度 3000 nit）

Power Indicator（電源インジケーター）

- この機能では、電源インジケーターの設定を行います。
- On（オン）にした場合、電源インジケーターがオンになります。
- Off（オフ）にした場合、電源インジケーターがオフになります。
- 電源インジケーターの設定の On（オン）か Off（オフ）かにかかわらず、モニターがオンになった直後約 15 秒間はインジケーターの設定がオンになります。

Wi-Fi Zone (Wi-Fi ゾーン) (1~17)

- この機能では、各国で許可されているワイヤレスチャンネルゾーンを設定します。
- 範囲は 1 ～ 17 です。 ご使用前にお住まいの国に適したゾーンを入力してください。
- ゾーンを変更すると、5 秒以内に再起動されます。
- 各国の Wi-Fi Zone（Wi-Fi ゾーン）は以下のとおりです。

Wi-Fi ゾーン	国
1	ミャンマー、イラク、リビア、イエメン、オマーン、クウェート、バーレーン、UAE、ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン
2	ミャンマー、イラク、リビア、イエメン、オマーン、クウェート、バーレーン、UAE、ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン
3	南アフリカ、ケニア、アルジェリア、イスラエル、チュニジア、ウガンダ
4	パキスタン、カタール、ナイジェリア、中国
5	サウジアラビア
6	ミャンマー、イラク、リビア、イエメン、オマーン、クウェート、バーレーン、UAE、ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン
7	ベトナム、マレーシア、タイ、インド、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、イラン、ヨルダン、スリランカ、レバノン、香港、カザフスタン
8	ブラジル、エクアドル、アルゼンチン、ペルー、チリ、ベネズエラ、フィリピン、メキシコ、コロンビア、パナマ
9	カナダ、USA
10	台湾、ホンジュラス、エルサルバドル、グアテマラ
11	韓国
12	日本
13	その他のヨーロッパ諸国
14	モロッコ
15	インドネシア
16	エジプト
17	ウクライナ、ロシア

Factory Reset (工場出荷状態へリセット)

- 製品を工場出荷時の設定にリセットできます。

USB Cloning（USB クローニング）

モニターの設定を他のモニターの設定にコピーできます。

Send to USB（USB にエクスポート）

- 現在の設定をファイル形式で USB デバイスに保存できます。
- ファイル名を選択して [OK] を押せば完了です。
- [PICTURE] の [Advanced Control（詳細設定）]、[Clock（現在時刻）]、[Sleep Time（スリープ タイマー）]、[Power On Delay（パワーオン遅延）]、[Set ID（セット ID）]、[Tile ID（タイル ID）]、および [NETWORK（ネットワーク）] の設定項目は保存できません。

Receive from USB（USB からインポート）

- USB デバイスから構成ファイルをインポートして、現在使用しているモニターの設定値を変更することができます。
- この製品と異なるモデルの設定ファイルを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- インポートが完了すると、5 秒後に電源がオフになります。

Logo Image Download（ロゴイメージのダウンロード）

- ブートイメージをダウンロードして適用することができます。
- 適用するイメージは、USB デバイスの最上位レベルの「LG_MONITOR」フォルダに保存されている必要があります。
- ダウンロードが完了するとモニターが再起動し、ブートイメージが適用されます。

注意

- クローニング機能を使用する場合は、FAT32 ファイルシステムを使用してフォーマットされた USB ストレージデバイスを使用してください。 他のファイルシステムでフォーマットされている場合、正常に作動しない場合があります。

Password Change（パスワードの変更）

[Installation menu（インストールメニュー）] で、パスワードを変更できます。
セキュリティのため、パスワードを変更することができます。 新しい 4 桁のパスワードを入力します。 確認のため、[Confirm Password（パスワードの確認）] に同じパスワードをもう一度入力します。

Tile Mode（タイルモード）

画面ごとの設定と同じ方法で、統合画面を設定することができます。
この機能は、
- 複数のディスプレイ機器と合わせての使用中に動作します。
- 分配器または RS-232C を利用して DP ケーブルで接続されているときに動作します。
- タイルモード： 行 x 列（行 =1 ～ 15、列 = 1 ～ 15）
- 15x15 まで使用できます。

Row（行）（1 ～ 15）
- タイルの行の数を設定します。

Column（列）（1 ～ 15）
- タイルの列の数を設定します。

Tile ID（タイル ID）（1 ～ 225）
- タイルの ID を設定します。
- 選択した ID が画面に表示されます。

Natural (ナチュラル)
- より自然なディスプレイになるように、画面間の距離に合わせて映像の一部が省かれます。

Reset (リセット)
- [Tile Mode（タイルモード）] の設定をリセットします。
- [Tile Reset（タイルリセット）] を選択すると、すべてのタイルの設定がリセットされ、画面が [Full Screen Mode（全画面モード）] に戻ります。

注意
- タイルモードが有効な場合は、スマートエネルギーセービングおよび Energy Saving（省エネモード）の [AUTO] オプションが無効となり、他のディスプレイと同等の画質で表示されます。

タイル モード

本機と合わせて複数のディスプレイ機器をタイルのように並べて配置することで、さらに大きなサイズのタイルディスプレイを表示できます。

•オフ:
[タイルモード] 機能を利用しない

•1X2:
2台のモニターを使用する場合



•2X2:
4台のモニターを使用する場合



•3X3:
9台のモニターを使用する場合



•4X4:
16台のモニターを使用する場合



•5X5
25台のモニターを使用する場合



タイルモード - ナチュラル

通常は、各ディスプレイ機器のフレームに隠れて表示されない部分がないよう、本来の映像をそれぞれのフレームから少しずつ切り離して表示します。この設定が有効な場合、フレームに合わせて映像を切り離すことなく、隠れる部分はそのまま非表示にし、より自然な映像を表示します。

適用前



適用後



Fail Over（フェイルオーバー）

優先順位の最も高い入力元が選択されます。

Off (オフ)

- 自動フェイルオーバー機能が無効になります。

Auto (自動)

- 入力元が指定した順序に変更されます。 複数の入力元が検出された場合、優先順位の最も高い入力元が選択されます。
- 優先順位：1.HDMI1、2.HDMI2、3.DisplayPort、4.DVI-D 、5.Internal Memory

Manual (マニュアル)

- 入力元が指定した順序に変更されます。 複数の入力元が検出された場合、優先順位の最も高い入力元が選択されます。
- 優先順位 1 ～ 4 まで設定できます。 優先順位 5 は内部メモリに固定されています。

注意

- [File Manager（ファイルマネージャー）] を使用してコピーされたコンテンツは、ルートフォルダーに保存されます。
- [Fail Over（フェイルオーバー）] によって入力が [Internal Memory（内部メモリ）] に切り替わると、[Internal Memory（内部メモリ）] の最上位フォルダにあるビデオファイルまたは画像ファイルが表示されます。
- 同じフォルダーにビデオファイルと画像ファイルの両方がある場合、ビデオファイルのみが再生されます。
- SuperSign で配信されたコンテンツは、内部メモリの「normal」という名前のフォルダに保存されます。そのため、SuperSign で配信されたコンテンツは、[Fail Over（フェイルオーバー）] によって自動的に再生されることはありません。

ISM Method（ISM モード）

静止画が画面に長時間表示されていると、残像が発生することがあります。 ISM モードは、残像を防止する機能です。

Mode（モード）
- お好みの ISM モードを選択します。
- [ノーマル]：ISM モードを無効にします。
- [Inversion（反転）]：残像をなくすために画面の色を反転します。（現在の入力元が信号なしになると、このオプションは無効になります）。
- [Orbiter（移動）]：残像をなくすために、画面上で画像の位置を、特定の順序で一度に 3 ピクセル数ずつ移動します。 （現在の入力元が信号なしになると、このオプションは無効になります）。
- [ホワイトウォッシュ]：残像をなくすためにホワイトパターンを表示します。
- [カラーウォッシュ]：残像をなくすためにホワイトパターンとカラーパターンを交互に表示します。
- [Washing Bar（ウォッシングバー）]：画像が円滑に動くように、画面上にバーを表示します。 対象の画像をダウンロードし、これをバーで表示できます。
- [User Image（ユーザー画像）]：USB ストレージデバイスを使用して、目的の画像を表示します。

Repeat（繰り返し）
- [Off, just 1 time（オフ、一度のみ）]：対象のモードを選択して [完了] を押すと、ISM が即座に実行します。
- [On（オン）]：画面が一定の待機時間で静止すると、指定した期間のみ ISM が実行されます。

Wait（待機時間）
- 1 ～ 24 時間の範囲で待機時間を設定できます。
- このオプションは、[Repeat（繰り返し）] を [On（オン）] に設定した場合のみ使用できます。
- 画像が一定期間静止すると、ISM が始動します。

Duration（再生時間）
- 1 ～ 10 分 /20 分 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分 /180 分 /240 分から選択できます。
- このオプションは、[Repeat（繰り返し）] を [On（オン）] に設定した場合のみ使用できます。
- 指定した期間のみ ISM が実行されます。

Action Cycle（アクションサイクル）
- 1 ～ 10 分 /20 分 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分 /180 分 /240 分から選択できます。
- このオプションは、[Inversion（反転）] または [Orbiter（移動）] に設定した場合のみ使用できます。
- [Orbiter（移動）]：指定した周期で画面の位置を移動します。
- [Inversion（反転）]：指定した周期で画面の色を反転します。

Bar Image（バーの画像）
- [Off（オフ）]：固定された解像度（300 x 1080）でバーを表示して、このバーを移動します。
- [On（オン）]：ユーザーがダウンロードした画像を表示して移動します。 画像の高さは 1080 で固定され、幅はダウンロード時と同じ値になります。 ただし、幅が 300 未満の場合は 300 に固定されます。
- このオプションは、[Washing Bar（ウォッシングバー）] を設定した場合のみ使用できます。
- 1 つの画像をダウンロードした場合、バーが移動してこの画像が単独で表示されます。
- 複数の画像をダウンロードした場合、最大で 4 つの画像が一定周期で順番に表示されます。

Bar Color（バーの色）
- 赤、緑、青、白、黒、グレーの 6 色から選択できます。
- この機能は、[Bar Image（バーの画像）] が [Off(オフ)] に設定されている場合にのみ使用できます。
- このオプションは、[Washing Bar（ウォッシングバー）] を設定した場合のみ使用できます。

Transparency（透明度）
- [Off（オフ）]：バーを不透明にして表示します。
- [On（オン）]：バーを半透明にして表示します。 （透明度：50%）
- このオプションは、[Washing Bar（ウォッシングバー）] を設定した場合のみ使用できます。

Direction（方向）
- [Left -> Right（左 -> 右）]：バーが左から右に動きます。
- [Right -> Left（右 -> 左）]：バーが右から左に動きます。
- このオプションは、[Washing Bar（ウォッシングバー）] を設定した場合のみ使用できます。

Bar Image Download（バーの画像をダウンロード）
- 画像ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい画像ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古い画像を削除してください。
- サポートされているファイルタイプ：BMP、JPG、JPEG、PNG、GIF
- 画像は最大 4 つまでダウンロードできます。 （解像度：最大 1920 x 1080）
- 画像がないか、既存の画像が削除されている場合、デフォルトの画像が使用されます （デフォルトの画像は白いバーの画像です）。
- このオプションは、[Bar Image（バーの画像）] が [On（オン）] の場合のみ使用できます。

User Image Download（ユーザー画像のダウンロード）
- 画像ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい画像ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古い画像を削除してください。
- サポートされているファイルタイプ：BMP、JPG、JPEG、PNG、GIF
- 画像は最大 4 つまでダウンロードできます。 （解像度：最大 1920 x 1080）
- 画像がないか、既存の画像が削除されている場合、デフォルトの画像が使用されます （デフォルトの画像は白い背景の画像です）。
- このオプションは、[User Image（ユーザー画像）] を設定した場合のみ使用できます。

*** ダウンロードされたバーの画像 / ユーザー画像のリセットまたは削除方法**
- リセットするには、[Installation（インストール）] > [Signage Setup（Signage のセットアップ）] > [Factory Reset（工場出荷状態へリセット）] の順に進みます。
- [File Manager (マネージャー管理)] から [Internal Memory (内蔵メモリー)] に進み、ダウンロード済みのコンテンツを削除してください。

Server（サーバー）

Set Automatically（自動設定）
- モニターセットは、SuperSign サーバーから検索できるように自動的に設定されます。

Server IP（サーバー IP）
- SuperSign サーバーの IP アドレスを設定できます。

Server Status（サーバーのステータス）
- [Server Status（サーバーのステータス）] に、モニターと SuperSign サーバー間の接続のステータスが表示されます。
- Not connected（接続されていません）：モニターが SuperSign サーバーに接続されていない状態です。
- Waiting for approval（承認待機中）：モニターが SuperSign サーバーに接続されているが、まだ承認されていない状態です。
- Rejected（承認拒否）：モニターが SuperSign サーバーに接続されているが、拒否された状態です。
- Connected（接続済み）：モニターが SuperSign サーバーに接続され、承認れている状態です。

Lock Mode（ロック モード）

USB
- USB デバイスが使用されないようにできます。

Reset to Initial Settings（初期設定にリセット）
- 初期設定が使用されないようにできます。


LG
Life's Good